

自動車の検査登録制度の概要

○自動車については、不動産と同様に国民の基本的財産として、その所有権を保護するため、公証(登録)制度が設けられているところ。自動車を運行の用に供するためには、登録を行うとともに、国の定める安全・環境基準に適合しているかの確認(検査)を行うことが必要。

登録の具体的イメージ

未登録の車
(新車購入時等)



自賠責保険の
付保確認のため
証明書を提示

運行の要件

自動車の所有権を有していること

自動車の保管場所の確保

自動車重量税の納付

自動車損害賠償責任保険の契約締結

自動車の安全性・環境保全の基準を満たしていること

登録

登録の 主な効果と役割

- 公道が走行可能
- 所有権の保護
- 各種行政手続きの執行基盤

ナンバープレート
の取付け、封印



検査の具体的イメージ

検査の中で確認する事項

- 車両諸元の確定
- 自動車の基準適合性の確認
 - 定期点検整備実施状況の確認
 - 保安基準適合性の審査
 - NOx、PM法の基準への適合性の確認

検査のタイミング

- 新規登録時
- 車検更新時
- 構造等の変更 等